

平成30年3月14日

東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

標 題

雲南市吉田で農業の広域連携組織「元気!!ファームズよしだ」設立

(ダイジェスト)

雲南市の吉田・民谷地区の農業法人と営農組合が集まり、昨年6月から農業の広域連携について検討してきましたが、この度、3月10日に広域連携組織「元気!!ファームズよしだ」を設立しました。今後、資材の共同購入、機械施設の共同利用、後継者育成などに取り組んでいきます。

雲南市吉田・民谷地区では、平成25年に地域の活性化に向けた具体的方策を検討・実践するため、地域自治組織、企業、農事組合法人、地域活動グループ等が中心となって「よしだ円卓会議」が設立され農業班と文化班に分かれて議論を進めてきました。

農業班では、吉田の農業の維持・活性化には各農業組織間の連携活動が必要との結論から、平成29年6月から任意営農組合も参加し具体的連携内容と組織体制について検討してきました。

検討会は、農事組合法人と営農組合の代表者が中心となり各組織の問題と課題の洗い出し、連携に向けたワークショップ、ファームサポート東広島への視察などを行ってきました。

この度、平成30年3月10日、吉田林業総合センターにおいて広域連携組織「元気!!ファームズよしだ」の設立総会が開催され、(農)すがや組合長の錦織会長のもと活動を開始しました。

構成団体は、(農)宇山営農組合、(農)木ノ下ほたるの郷、(農)すがや、(農)ドリームファームおおよしだ、杉戸営農組合、民谷営農組合の6団体で、構成団体の利益だけでなく吉田地域全体の農業のあり方や将来像についても検討をしていきます。

平成30年度の取り組み内容は、実践活動として①資材の共同購入、②機械・施設の共同利用、③後継者育成セミナーの開催を、また、実証活動として①畦畔除草対策(センチピートグラスの吹付)、②吉田米の販売戦略の検討を計画しています。

当普及部では、これら実践・実証活動や長期的ビジョンの作成など関係機関と連携しながら支援していきます。



ロゴマークを披露する錦織会長

